



第40号 令和4年4月  
 発行元 社会福祉法人まつのみ福祉会  
 発行人 田中 祥之  
 〒580-0023  
 大阪府松原市南新町 1-10-2  
 TEL072-336-3233 FAX072-334-6466  
<http://www.matsunomi.com>

### おまじをこめ

なかなか落ち着かない感染状況ですが、もはや感染対策の生活が普通の生活になってしまっ  
て久しいです。コロナ以前はど  
んなんでしたっけ。なんにせよこ  
れまで同様日々できることを積  
み重ねていくしかない、職員  
一同毎日対応しています。

利用者のみなさんもそれぞれ  
思うところはあると思いますが、一日一日を元気に過ごされ  
ています。そんな利用者のみな  
さんに作業を含めた活動の中  
でちよつこでも楽しんでもらえ  
たら、職員も意識をもってか  
わってくれています。

利用者の方に限らず、多くの  
人は一定の状況に一定の期間  
置かれたとき、それに順応して  
しまい、それが当たり前と思っ  
てしまうのです。いつもしてい  
た行事などが中止になり、楽し  
みにしていた人はもちろんです  
が、普段していたことがよくわ  
からないままなくなったりする  
ことに不安を覚える人もいま  
す。そういった不安な思いはな  
かなか伝えることは難しいも  
のです。特に表現の手段が限ら  
れている方にとっては、思いのつく

らも相手に伝えられず、そこで  
あきらめやパニックなどを繰り返  
し経験してきたと思います。

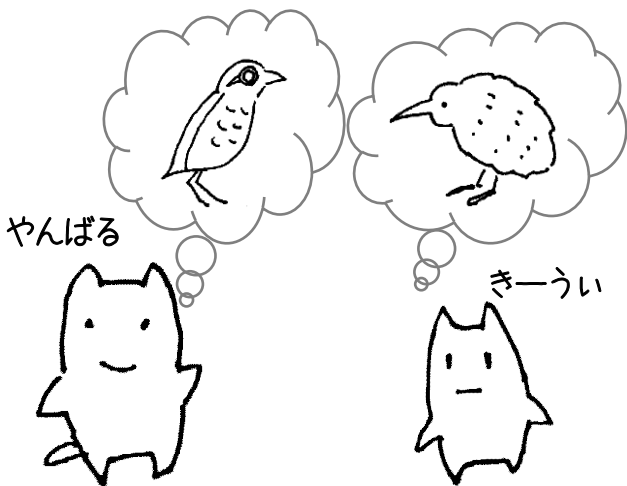
まつのみ利用者の方は、職  
員や他の利用者とかかわり  
徐々に表現の手段が増えてきて  
います。相手に意思が伝われば  
コミュニケーションの質が大きく  
変わります。自分のことが相手  
に伝わるようになれば、相手の  
ことも理解してくれるようにな  
り、関係性に信頼が生まれま  
す。良好な関係性は、お互いに  
相手を思いやり、交渉によつ  
て相手への譲歩や場合によつて  
は妥協したりなど、より複雑な  
関係が築けるようになります。  
そうになると、本人にとつて多少  
好ましくないことでも我慢して  
もらえるようになり、そこから  
できることが増えていくことも  
たくさんあります。例えば、感  
染検査などは鼻になかなか突っ  
込むのでキツイですが、事前の  
説明や職員がそばについて行  
うと、とても我慢して受けてく  
れる方もいます。血液検査や予  
防接種などの注射も今ではほと  
んどの人が、滞りなく受けるこ  
とができています。

表現の手段が少なければ、少  
し嫌なことまじい嫌なこと

同じ表現になってしまふことも  
あります。少しでも多くの表現  
の手段を持つてもらえるように、  
また、限られた表現でも正しく  
読み取れるようにしていきたい  
と思っています。

利用者として思っている  
は、表現の手段が増えると飛躍  
的に本人の様子が変わるとい  
うことです。職員の毎日の関わり  
での小さな変化も、気が付くと  
大きな変化になっていきます。ま  
あそれでも、全部わかった気にな  
りたくない様にならないとい  
けません。

【統括】



## B型

今年も春がやってきましたね。暗いニュースが続きますが、満開の桜はそんな日常を少しだけ忘れさせてくれますね。

保護者のみなさま、関係者のみなさま、昨年度はコロナによる待機や事業所閉鎖にご協力、本当にありがとうございました。

利用者の方々も事業所ではマスク着用や、様々な制限、予定の中止変更などにも柔軟に対応して下さっています。その気持ちや頑張りにもたえられるように、今年度も就労継続B型は、仕事を中心に、みなさんに充実した時間を日々過ごしてもらえよう職員一同努めていきます。引き続き、ご助言ご指導よろしくお願いいたします。

## 生活

生活介護では、チームダイエットと名付け大泉緑地や近隣の公園によく行っています。大泉緑地では脚に負担のない樹の道を歩くことが多く、お昼がカレーライスの日などは「カレー食べる！がんばろ〜」など声をかけながら歩くことが多いです。近隣の公園ではブランコにのる方、シーソーがお気に入りの方、もっぱらベンチに座り季節を感じている方？と楽しみ方は違うようです。作業室では見ることの出来ないような、笑顔や発見があります。これからも支援員とともによく歩きよく笑い楽しい生活介護を目指します。



コロナで閉店していたこともありましたが、現在元気に営業中です。生活介護班には毎週月曜日と決め、2週に1回AグループBグループと2班に分け密にならないようにし、小さな個包装のお菓子とココアやコーヒーなど飲んでもらっています。「きのこの山食べる〜」「ココア飲む〜」とお菓子の指定をしてくださる方もいらっしゃいます。飲み干した飲み物の底をじっと見つめ余韻を楽しんでいるのか？と思う方もいらっしゃいます。コロナでいろいろなことが制限されていますが少しでも楽しみのひとつとなってくれていたらうれしいです。



## 分場

春が来て、分場にも花が咲きました。冬場に球根を植え、一日一日成長を見守ってきたチューリップです。もしかして芽がでないのではなんて思った日もありましたが、芽が出てからは少しずつ力強く茎が伸びて、やがてつぼみができ、そのつぼみが色づいていき、ようやく花が咲きました。暖かい日を浴びて風に揺れる花に感動もひとしおです。さらにもうひとつお楽しみがあります。これも冬場に苗を植えていたイチゴ。今は白くてかわいい花が咲いています。色んな品種を植えたので食べくらべも楽しみ。イチゴ狩り気分を味わえるほどいっぱい実がなるといいな。先日はじゃがいもやトマトも植えてみました。どうなるかわかりませんが分場のプランター菜園、これからもウキウキが続きそうです。



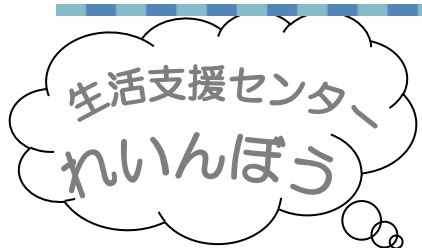
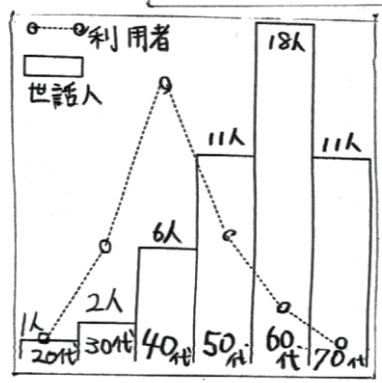
## 工房まつのみ

まつのみもコロナの影響で以前のような活動もままならない今日この頃です。それでも桜が咲いて、春はちゃんと訪れてくれます。はーとぴあショップもなかなか開催することができない状態です。早く再開できればと思っています。マスク、消毒と仲間たちも慣れてきています。お客様と挨拶や言葉を笑顔で交わせる日が来ることを待っています。その日にむけて、みなさんにみていただきホッとできるような作品作りをしていきたいと思っています。



こんな感じです。  
 高い年齢層でホーム  
 を支えている状態です。  
 若人募集中です。  
 よろしく願います。  
 以上 M.つよしでした。

○現在 世話人 49名  
 25歳から76歳  
 平均年齢 60歳です。  
 ・利用者 31名  
 26歳から71歳  
 平均年齢 49歳です。  
 図で表すと



今回はヘルプカードについて紹介させていただきます。

ヘルプカードとは、障がいのある人などが、必要な配慮を書き込み常に身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常生活の中で困ったときに、周囲の配慮や助言を受けやすくするカードです。お願いしたい支援や配慮はカードの裏面に記入してください。支援の内容はひとりひとり違うので、支援の方法も異なります。

例：パニックを起こすことがあります。優しく声をかけてください。  
 わかりやすい言葉で話してください。  
 耳が聞こえにくいです。筆談をお願いします。など

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

松原市

うら面を見てください

---

裏面

●にがてなこと・できないこと

●こんなサポートがあると助かります。

このカードは、障がいのある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に配慮や支援を求めするためのものです。ご協力をお願いします。

年 月 日作成			
ふりがな			
氏 名			
住 所			
生年月日 (年齢)	年 月 日 ( 歳)	血液型	
障がい 病 名			
見開き			
緊急連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
かかりつけ医 の連絡先 服用している 薬	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他 ( )		

障害者手帳所持者（身体・知的・精神）難病患者、障害福祉サービスの受給者など、日常生活や社会生活において、援助や配慮を必要としている人が対象となります。

松原市役所障害福祉課窓口、松原市総合福祉会館で配布しています。松原市のホームページ(障害福祉のページ)からヘルプカードの様式をダウンロードすることもできます。